

平成27年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 地域連携部スポーツ推進局 スポーツ推進課

1 事業概要

細事業名 *		競技力向上対策事業費					区分	継続
施策		242	競技スポーツの推進					
基本事業		24201	競技力の向上					
		目標項目		26年度実績値		27年度目標値		
		全国大会の入賞数				121件		
選択・集中								
重点化施策		重点						
根拠 (法令等)		うち特枠 207,302千円 (アドバイザー等人件費を除く)						
予算額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	予算額		90,508	128,474	143,842	213,162		
	決算額	116,024	89,690	118,648				
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> 本県アスリートの育成・強化を進めることで、平成33年に本県で開催する国民体育大会において、本県アスリートが活躍し、天皇杯（男女総合優勝）・皇后杯（女子総合優勝）を獲得することを目指します。また、国民体育大会終了後の安定的な競技成績を確保することを目的とします。 						
事業目標		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年5月に設置した「三重県競技力向上対策本部」を中心として、県体育協会、競技団体等関係機関と連携し、「三重県競技力向上対策基本方針」に基づき、第70回国民体育大会（平成27年）において男女総合成績20位台を確保するとともに、男女総合得点では1,000点を目指します。 また、全国大会の入賞数においては121件を目標とします。 						
前年度からの変更点		<ul style="list-style-type: none"> 新たに国民体育大会に導入される競技への対応と女性アスリートが継続して競技に取り組むことができる環境づくりについて調査・研究し、女性アスリートの競技力向上を図ります。 トップアスリートが、県内に定着できるように就職の支援を行うとともに、新たなチーム結成に向けた取組を行い、成年選手が活躍できるように、計画的に環境づくりを進めます。 						
事業の必要性と期待さ		<ul style="list-style-type: none"> 平成33年に本県で開催する国民体育大会において、天皇杯・皇后杯を獲得するためには、計画的かつ戦略的な取組が必要です。これまでの継続的な競技力向上の取組によっ 						

れる効果	<p>て、本県の競技スポーツの基盤は作られつつありますので、引き続き、競技団体への支援を行うことで、基盤を強固なものにしていく必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な競技力向上に係る取組に加え、競技団体に国際的な指導実績をもつ指導者や競技力を有する選手を特別コーチとして派遣する取組や、国内外で活躍するトップアスリートをスポーツ指導員として配置するような短期的な取組を行うことで、当該年度における全国大会での入賞数の増加につなげていく必要があります。
------	--

2 取組詳細

取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ①ジュニア・少年選手及びその保護者・指導者に対する研修会 ②国民体育大会の監督・コーチに対する研修会 ③強化指定運動部・チームの指導者に対する研修会 ④大学運動部、企業・クラブチーム等の強化指定 ⑤当該年度の国民体育大会に向けた強化 ⑥県内トップレベルの成年選手及び少年選手の強化 ⑦競技力向上対策に係る会議の実施 ⑧特別コーチの派遣 ⑨スポーツ指導員の配置 ⑩公認スポーツ指導者の養成 ⑪トップアスリートの就職支援【新規】 ⑫医・科学スタッフの派遣 ⑬女性アスリートの競技力向上に向けた調査・研究【新規】 ⑭選手強化のための環境整備 ⑮寄附金を活用したジュニア選手育成 ⑯本県アスリートの応援・発信 <p style="text-align: center;">「三重県競技力向上対策本部」を中心として、各関係団体との連携を図りながら事業の推進を図ります。</p>
取組内容等	

(1) 競技力向上対策事業 213,162千円

- ・「三重県競技力向上対策本部」を中心として、県体育協会等関係団体と連携し、競技力向上の取組を推進します。
- ・平成33年に本県で開催する国民体育大会での天皇杯及び皇后杯の獲得を目指し、ジュニア・少年選手の育成・強化、成年選手の育成・強化、指導者の確保及び資質向上や環境整備等に取り組みます。

【事業内容】

①ジュニア・少年選手及びその保護者・指導者に対する研修会

- ・県内のトップレベルのジュニア・少年選手の育成・強化を図るため、選手とともにその保護者・

指導者に対し、研修会を実施します。

②国民体育大会の監督・コーチに対する研修会

・国民体育大会の監督・コーチに対し、チームみえとしての目標を共有するとともに、各競技団体との情報交換や意識醸成のために研修会を実施します。

③強化指定運動部・チームの指導者に対する研修会

・強化指定している運動部・チームの指導者に対し、先進的な指導理論等の習得を図るとともに、情報交換のため研修会を実施します。

④大学運動部、企業・クラブチーム等の強化指定

・成年種別の競技力の中心となる、大学運動部、企業・クラブチーム等の強化指定を行い、合宿や遠征等の強化活動を支援します。

⑤当該年度の国民体育大会に向けた強化

・第70回国民体育大会において入賞が期待できる競技団体に対し、合宿、遠征等の強化活動を支援します。

⑥県内トップレベルの成年選手及び少年選手の強化

・全国大会における入賞件数を増加させるため、各競技団体のトップレベルの選手に対し、年間を通じた合宿、遠征等の強化活動を支援します。

⑦競技力向上対策に係る会議の実施

・本県の競技スポーツの推進を図るため、各種会議を実施します。

⑧特別コーチの派遣

・全国・国際スポーツ大会で活躍した選手、もしくは優れた指導実績を有する指導者を特別コーチとして競技団体が行う強化練習会や合宿等に派遣することで、競技力向上を図るとともに、指導者の資質向上を図ります。

⑨スポーツ指導員の配置

・競技人口や指導者の少ない競技団体に対して、全国・国際スポーツ大会で活躍する現役選手を、年間を通して指導現場に派遣することで、ジュニア・少年選手の競技力向上を図るとともに、競技力向上の中核を担う指導者の資質向上を図ります。

⑩公認スポーツ指導者の養成

・国民体育大会の監督となるために必要な資格である公認スポーツ指導者資格の取得に対して助成することで、指導者の養成を進めます。

⑪トップアスリートの就職支援【新規】

・成年選手の育成・強化を計画的に進めていくため、本県出身等のトップアスリートが県内に定着できるよう企業等に対し、トップアスリートの実情や採用するメリット等を説明し、理解を得る等、就職支援の取組に着手するとともに、新たなチーム結成に向けた取組を進めていきます。

⑫医・科学スタッフの派遣

・スポーツ医・科学の専門家を強化合宿や大会等に派遣し、競技力向上のため支援を行います。

⑬女性アスリートの競技力向上に向けた調査・研究【新規】

・国民体育大会未実施のオリンピック競技種目が新たに国民体育大会に導入されることを受け、女性アスリートが競技の選択肢を広げることができるよう、体験プログラムや研修会を受講する機会を設けるとともに、継続して競技に取り組むことができるよう、環境づくりについて調査・研

究し、女性アスリートの競技力向上を図ります。また、女性指導者の資質向上を図るために研修会を実施します。

⑭選手強化のための環境整備

- ・競技成績の向上に影響を及ぼす競技具や、ルール改正等で必要な備品の整備を行うことで環境づくりにつとめます。

⑮寄附金を活用したジュニア選手育成

- ・企業等からの寄附金の活用により、将来国内外での活躍が期待できるジュニア選手の強化練習等を支援し、育成を進めます。

⑯本県アスリートの応援・発信

- ・本県代表として活躍しているアスリートについて、多様な広報手段により情報発信を行い、スポーツを「みる」「支える」人との一体感を醸成します。

⑰その他

- ・競技力向上対策本部経費、事務局費等

平成27年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 地域連携部スポーツ推進局 スポーツ推進課

1 事業概要

細事業名		競技スポーツジュニア育成事業費					区分	継続	
施策		242	競技スポーツの推進						
基本事業		24201	競技力の向上						
		目標項目		26年度実績値		27年度目標値			
		全国大会の入賞数				121件			
選択・集中		協2	夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト						
重点化施策									
根拠 (法令等)		うち特枠 40,590千円 H30 インターハイ強化事業							
予 算 額 等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			
	予算額		39,264	36,469	46,729	109,778			
	決算額	*千円	36,795	34,886					
事業の目的		将来有望なジュニア選手（小中学生）を「チームみえジュニア」として育成するとともに、高等学校運動部及び中学校運動部を強化指定し、将来、国内外の大会で活躍する選手の育成に取り組みます。							
事業目標		将来有望なジュニア選手（小中学生）および高校生アスリートを育成することにより、全国大会での入賞件数の増加を目指します。							
前年度から の変更点		<ul style="list-style-type: none"> 平成33年の本県で開催する国民体育大会に向けて、競技力向上対策基本方針にある推進計画に基づき、計画的に少年選手の競技力向上に関する取組を推進するため、高等学校運動部の強化指定を拡充します。あわせて、高等学校運動部と中学校運動部との連携を進めるため、合同で強化活動ができるよう取り組みます。 全国大会で活躍が期待できる少年選手の育成を図るため、中学校運動部の強化指定を拡充するとともに新たにジュニアクラブを強化指定し、合宿や遠征等の強化活動を支援します。 							
事業の必要性と期待される効果		<p>平成33年の国民体育大会で、天皇杯（男女総合優勝）および皇后杯（女子総合優勝）の獲得を目標とした取組を進めるため、将来活躍が期待できるジュニア選手および高校生アスリートの育成・強化に取り組む必要があります。</p> <p>また、ジュニア選手および高校生アスリートの育成・強化に取り組むことが、将来、国内外の大会で活躍する選手を輩出することにつながります。</p>							

2 取組詳細

取組概要	<p>①みえ生まれ、みえ育ちのジュニア選手が、平成33年の国民体育大会やその前年のオリンピック競技大会等の国内外の大会で活躍できるよう、県と関係団体が連携して、ジュニア選手の育成や指導者の養成、中学校運動部・ジュニアクラブの強化に取り組み、将来のトップアスリートを育成します。</p> <p>②本県出身の選手が、オリンピック競技大会や世界選手権大会をはじめとした国内外の大会で活躍できるよう、各競技団体や学校と連携し、学校運動部の強化活動の支援等を行い、将来のトップアスリートの育成と指導者の資質向上を図ります。また、中学校と高等学校運動部の連携を深めるため、合同での強化活動等を進めます。</p>
取組内容等	

ジュニア選手の育成・強化の中で中学生の強化については、各競技団体の活動に委ねてきたところですが、平成26年度からは全国大会での活躍が期待できる中学校運動部の強化指定に取り組んでいます。平成27年度からは、中学校運動部の強化指定校を拡充することに加え、新たにジュニアクラブを強化指定することにより、高等学校運動部との連携を促進します。

小中学生を対象としたチームみえジュニア育成・強化、中学校運動部・ジュニアクラブ強化指定及び高等学校運動部強化指定の取組により、小学生から中学生、高校生までの一貫したジュニア・少年選手の強化体制を構築し、選手強化を進めていきます。

(1) チームみえジュニア育成事業 49,619千円(12,008千円)

①チームみえジュニア発掘・育成

- ・ジュニア選手の人口が少ない競技団体について、将来有望な選手を発掘、育成するための支援を行います。
- ・各競技団体から推薦を受けた将来の活躍が期待できるジュニア選手を「チームみえジュニア」として指定し、合同練習や合宿等の強化活動の支援を行っていきます。

②中学校運動部活動・ジュニアクラブ強化指定【一部新規】

- ・全国大会での活躍が期待できる中学校運動部やジュニアクラブを強化指定し、合宿や遠征等の強化活動の充実を図ります。

③H30インターハイ強化事業【新規・特枠】

- ・平成30年のインターハイに向けて、中体連の各競技専門部による県内中学生選手の競技力向上を目的とした強化練習会の開催や指導者の招聘等を支援します。(H26は教育委員会で実施)

(2) 高校生アスリート強化事業 60,159千円(28,582千円)

①高等学校運動部活動強化指定

- ・全国・国際スポーツ競技大会において活躍するトップアスリートの育成・強化を目指すため、全国大会で活躍が期待できる高等学校運動部の強化指定(部数)を拡充し、多くの競技において強化を進めていきます。

②トップアスリート研修会

- ・全国大会で優秀な成績をおさめた高校生アスリートに対し、将来、国際的なアスリートに成長するために必要な資質を向上させるための研修会を開催します。

③H30インターハイ強化事業【新規・特枠】

- ・平成30年のインターハイに向けて、高体連の各競技専門部による県内高校生選手の競技力向上を目的とした強化練習会の開催や指導者の招聘等を支援するとともに、中学校運動部との合同強化練習を実施し、中高の連携を深めていきます。